

## 令和3年度第2回 仙台市社会福祉審議会地域福祉専門分科会 会議録

標記会議の開催について、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一堂に会しての開催とはせず、本会議の資料送付と書面による表決をもって、下記により開催に代えた。

### 1 開催日時

令和4年2月7日(月)発送～令和4年2月22日(火)締切

### 2 送付委員

分科会委員 17 名

### 3 議事

せんだい支えあいのまち推進プランの評価方法について

### 4 書面表決結果

#### (1)「当分科会を書面により開催すること」について

「賛成」16 名、「反対」0 名（議長である会長分除く）

以上、「賛成」多数により、本分科会は成立する。

#### (2) 議題「せんだい支えあいのまち推進プランの評価方法」について

「承認する」15 名、「承認しない」0 名、「意見を付け会長一任」1 名（議長である会長分除く）

以上、「承認する」多数により、本議題について承認することとする。

#### (ア) 表決に際しての意見

- ・評価における事業担当課職員の負担が多くなならないような配慮が必要ではないか。ただ、この評価を通して、担当課職員が自分の実施している事業、前任者から引き継いだ事業、後任者へ引き継ぐ事業に対し、しっかりと見つめ考える、いい機会にしていきたい。

#### (イ) 意見に対する事務局の回答

- ・新プランの個別評価では、プランの目標である地域共生社会の実現に向けた各事業の動きを課題や連携の取り組み状況から評価することとしたことなどにより、記入欄が増えた。
- ・一方で、目標の達成状況と根拠や、課題と今後の取組方針など、これまで一文で記入していた項目については、記入内容にばらつきや漏れが出ないように記入欄を分けた。これにより、記入すべき内容に迷うことは少なくなると見込んでいる。
- ・また、旧プラン評価では重点事業について別様式で詳細に記入させていたが、新プランでは他の事業と統一様式とした。
- ・新しい評価表の記入に際して、事業所管課に一定の負担感はあるものと認識しているが、課題や連携の取り組み状況を確認する作業を通して、それぞれの事業をしっかりと見つめ直す機会として参りたいと考えている。
- ・なお、個別事業評価の実施にあたっては、事業所管課に対し評価の趣旨への理解を促すとともに、記載例やレイアウトの工夫により、評価作業が煩雑とならないよう努めていく。

裏面に続く

(ウ) その他議題に関する意見・感想等

- ・「せんだい支えあいのまち推進プラン」と、相互に連携した地域福祉推進を目指す「せんだい ai プラン（地域福祉活動計画）」の進捗状況の評価を、それぞれ進めるに当たり、2 つの計画の評価が何らかの形で連動するような仕組みになっていくことが望ましいと思うので、今後の検討が必要だと思う。

5 署名委員

阿部重樹会長、渡邊礼子委員